

20年度末供用を延期

建設コスト高騰 時期再検討

沼津市の新ごみ処理施設

沼津市は19日の市議会民生病院委員会、市が事業主体となって整備するごみの新中間処理施設の供用開始時期を当初目指していた2020年度末から延期すると報告した。新たな供用開始時期は「未定」としている。

現在の焼却施設(同)り手市場になり、建設費を整備する。現施設市上香貫、1976年コストが高騰していることが主な理由。移動している全国的施設。市は現施設の建物の耐震不足や設備の老朽化などのため、新施設から工事に入る予定だ

市街化調整区域の宅地創出案

都計審「適当」と答申

御殿場市都市計画審議会(田代武満会長)を若林洋平市長に提出した。市街化調整区域の宅地創出案は、定住人口の維持を目的に都市計画法に定める開発許可の特例を適用し、段階的に調整区域の宅地創出を推進する。市は2016年度に印野地区で10区画整備し、17年度以降も人口減が目立つ地区で年度ごとに1地区ずつ整備する方針。

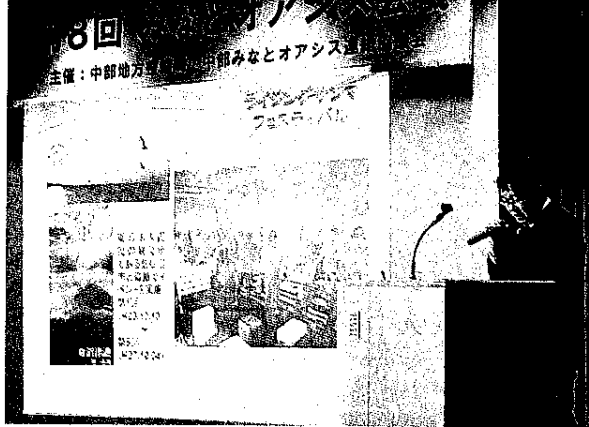


若林市長(左)に答申書を提出する田代会長(中央) 二御殿場市役所

工業団地を市街化区域に編入する。これに伴い自然環境の維持や景観保全を目的とした地区計画を策定する。田代会長は「自由度が高くなり、迅速な企業活動を行う上で(区域変更)は必要」と述べた。市は市議会3月定例会に地区計画条例案を提出する方針。

にぎわい創出事例紹介

住民参加型で港を核としたまちづくりを進めているとして国土交通省から「みなとオアシス」に認定された中部地域の港の関係者に沼津港の取り組みなどが発表された。沼津市は「みなとオアシス」に認定された。



沼津港の取り組みなどが発表されたみなとオアシス会議=沼津市

設時期と事業費を再検討する」と述べた。延期に伴う対応として「設備の老朽化は進んでいるが、01年度に改良工事を実施し、すと強調した。

懲罰案決める 伊東市議会

伊東市議会懲罰特別委員会が19日、12月定例会の常任委員会で、懲罰案を採決した。委員会は2月22日に可決されれば、杉本氏が22日の3日間、本会議に出席できなくなる見通し。

懲罰案の提出を受け、懲罰特別委を開設した。懲罰案は、杉本氏が昨年12月15日の本会議で議長から「公開の場での陳謝」を命じられたにもかかわらず拒否し、議会の規律と秩序を乱したなど

沼津でみなとオアシス会議

よる「第8回みなとオアシス会議」が19日、沼津市内で開かれた。県内をはじめ三重、愛知県の各港などから約90人が参加し、港湾利用の促進と地域活性化を目指して、それぞれの取り組みを披露した。



農地で鳥獣被害の対策について学ぶ参加者 二沼津市

鳥獣被害対策が、沼津市、JAなんすんは19日、農地の鳥獣被害対策の勉強会を同市内で開いた。同市平沼内と井出、石川地区の農家や住民約20人が、動物に対する適切な対策手法を習得した。

講師は農林技術研究所森林・林業研究センターの片井祐介主任研究員が務めた。参加者は、同市浮島地区センターで動物の種類による生態の違いや対策、電気柵の設置法などの講義を受けた後、同市井出の農地で現地研修に臨んだ。大根畑や茶畑に実際に設置されている電気柵を見て回り、問題点などを具体的に学んだ。

湧水

富士宮市内の5高校

(富士宮、富士宮東、富士宮北、富士宮西、星陵)の生徒が「富士宮高校会」を来月設立する。若者の目線で地域振興に寄与する組織を目指すという。どんな成果を生むか楽しみになっている。

街を変える次世代期待

「富士宮高校会」に似せたのは組織名だけではない。会頭、副会頭を置き、観光、イベント、環境、商店街など各戦略を担当する部署を設ける。会頭に就任した飯島大君(富士宮市)は「富士宮やぎ」を掲げ、富士宮市界遺産登録と全国区の話題を定期的に提供する。市民が提供してきた。市民力が生んだ成果ともいえ、2016年度からは今後10年のまちづくりの基本構想「第5次総合計画」がスタートした。手が無ければ、富士宮の名が腐れてしまう。

犯罪発生速報(1月11~17日、県警調べ)

